

# 秋田県手をつなぐ親たち

第61号

公益社団法人

・発行人 会長 田中 勉

秋田県手をつなぐ育成会

秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館3階

令和2年秋号

TEL 018-864-2718

HP <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

## 禍転じて

会長 田中 勉



未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、

当法人の事業も満足に進められない状況が続いております。皆様におかれましては不自由な日常が続く、先が見えない不安な日々が続いていることと推察いたします。一日も早い事態の収束を祈るばかりです。

例年であれば、県大会の報告をしている時期であります。新型コロナウイルス感染症に対する知的障がい者の感染予防対策の難しさや、障がい者施設の感染症予防体制の困難さを考えれば、私たちはブレーキを踏みながら慎重に事業の進め方を考えていく必要があると考え、今年度の大半の事業についてはやむなく中止することと決断いたしました。

さて、このような困難な状況下ではあります。当法人にとつて今年には逆にチャンスのある年と捉えております。激しく変化する時代に対応するため、法人

運営や様々な事業のあり方を見直す良い機会であり、変化を求められる時期だと考えております。

まず、最初に検討しなければならぬことは、当法人財政の健全化です。公益社団法人には収支相償という『公益目的事業は儲けを出さない』ことを原則とする財務基準があります。しかし、この収支相償を文字通り続けるとじわじわと資産を食いつぶし、組織としての体力が衰えることは火を見るより明らかです。実際、当法人も公益社団法人に組織変更してからの七年間で毎年赤字を計上し、三百万円以上の預金の取り崩しを余儀なくされています。まずは、今年度の収支を黒字にすべく財政の健全化に向けた取り組みをしたいと考えています。

なお、収支が黒字になっても、将来予定する特定事業活動のための準備資金として認められている特定費用準備資金の積立は可能で、今後全国大会の本県開催を見込んでいることから、できる限り準備資金を残していきたいとも考えております。

次に各種大会の開催について、去る十月八日に東北ブロック協議会がオンラインで開催さ

れ、次のように全育連より説明がありました。令和三年度の全国大会は集合形式の開催は取りやめ、全国大会に相当するイベントをウェブ会議システムの活用によりライブ配信形式で開催し、令和四年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて検討することとし、令和五年度については今年度延期となった愛媛大会を開催するという内容です。その流れから秋田県での全国大会は、令和六年度の開催と考えてよいと思います。令和三年度の開催が三年間先延ばしになりましたので、大きな時間的余裕が生まれました。過去の全国大会の形式を一度見直す良い機会が出来たと考えております。また、県大会につきましても来年度以降は広く会員皆様のご意見をお聞きして判断していきたいと考えておりますが、開催形式はオンラインの活用も含めて検討していきたいと考えております。

会議の開催も儘ならない不自由な状況ですが、皆様のご支援・ご協力をいただきながら当法人の運営を進めてまいりたいと考えております。

何卒宜しくお願い申し上げます。

副会長就任ご挨拶

副会長 小林 顕



この度、副会長（中央地区）を任されまし

す。うちの子供は今年、特別支援学校高等部に入ったばかりで、私は子供と一緒に障がい当事者として、この茫洋とした世の中を何とか渡っている最中です。仕事は医師で、以前から大久保の老健ほのぼの苑で施設長をしています。

大部前になりますが、医学研究のため、スウェーデンに数年住んでいました。日本はあくまで日本であり、北欧と同じになれば良いということではありませんが、近年、日本の障がい福祉関連の法律が、当事者の人権を尊重する方向に進歩してきている現状に幾らかほっとしています。しかし世間の実情はまだです。

今後、田中勉会長を補佐しながら、県育成会財政健全化、育成会活動活性化、知的障がい福祉の増進等の諸課題に取り組みます。そして数年後に迫った、全国手をつなぐ育成会連合会全

国大会「秋田大会」を、田中会長のもとで、必ずや成功させたいと思います。

「本人とご家族みんなの幸せを守ること」が育成会の使命と考え、腰を据えて頑張りますので、皆様宜しくお願い致します。

副会長就任挨拶

副会長 田口 ひとみ



本年六月の理事会において、柴田副会長さん（県南地区）が体調不良で退任するため、残りの副会長の任期を私が引き受けることになりました。

柴田さんの後任が務まるかどうかとても不安ですが、田中会長さんをはじめとして、理事の皆様、会員の皆様方にご指導や助言をいただきながら、務めることができればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症により例年行っている行事などが延期や中止になっています。また、施設などでは、楽しみにしている行事が中止や外部からの参加者を入れずに小規

模な開催になった結果、ストレスでいつもと違う行動をしたり、イライラしている利用者さん達が多くなってきたと耳にすることがあります。

これからの季節は、新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行するようなのが報道されています。一人一人が感染防止に努め、コロナ禍が一日も早く終息し、例年どおり行事や活動ができ、安心して暮らすことができる日が訪れることを願っております。

◆石垣事務局長の挨拶

初めまして、新しく事務局長に就任しました石垣秀也と申します。十年ほど前まで、長年地元金融機関に勤め、その後六年間中国と台湾に秋田の日本酒を主とする物産の販路開拓の仕事をし、最後に再び銀行に戻り五年間銀行の健康保険組合に勤めていました。健康保険組合退職後は、特に仕事をすることはありませんでしたが、この度縁があり当会にお世話になることになりました。

福祉の仕事については分からない事ばかりですが、皆様からのご支援・ご協力をいただきながら福祉に関する知識を身につ

け、当会に貢献できればと思っています。

新型コロナウイルスの影響で、盛んに手洗いや消毒の励行が言われています。身体を清潔に保つ事は大切ですが、規則正しい生活習慣や健康的な食生活で自身の免疫力を高め、ウイルスなどの外敵に負けない身体作りも必要ではないかと考えるこの頃です。

◆事務局からのお知らせ

六月三十日をもって佐藤英美事務局長と職員の間原智夏さんが退職されました。長い間当会のためにご尽力いただき大変ありがとうございました。長い間当会のためにご尽力いただきました。佐藤事務局長の後任には、十月一日から石垣秀也新事務局長が就任しております。

なお、今回発行する会報誌は、新型コロナウイルスの影響でいろいろな事業ができないことから誌面を縮小して発行することにしました。一日も早く新型コロナウイルスが収束し、いつもの活動が出来るよう祈るばかりです。